

強力な地震前兆電磁波を捕らえた時、研究者は情報公開をどう行うべきか？

What do we have to do, when we detect the strong electromagnetic phenomenon caused by the large earthquake.

福島 毅[1], 小野 祐司[2]
Takeshi Fukushima[1], Yuji Ono[2]

[1] 行徳高, [2] 関宿高
[1] Gyotoku high school, [2] Sekiyado high school

<http://www.asahi-net.or.jp/~xr2t-fksm/info.html>

近年、地震に先行する電磁波の異常が報告されているが、本震発生前に電磁波の生データをリアルタイムで公開している機関は現在のところ無い。

行徳高校では平成 11 年 4 月より、毎日の観測データを準リアルタイム（1日に1-2回）でweb公開（グラフ利用も自由）するとともに、公開の終わったデータもweb上で参照できるシステムを構築した。本論では、行徳高校方式の情報公開に関する利用者アンケートを実施した結果やBBS（電子掲示板）の書き込みを通じて、今後のデータ公開のあり方について報告する。

近年、地震に先行する電磁波の異常が報告されているが、本震発生前に電磁波の生データをリアルタイムで公開している機関は現在のところ無い。この事態を延長して考えると、地震空白域等の情報から想定される大規模な被害地震においても電磁波データの一般公開が大地震の事後に行われ、「実は異常を観測していた」と事後報告された兵庫県南部地震と何ら状況が変わっていないことが予想されるのである。

地震先行現象の情報公開に関する議論は純粋に理学的な研究テーマではないが、「地震予知学」を今後新たな学問体系と位置付けるのであれば、前兆現象の情報公開のあり方を真剣に議論する時期に来ていると思われる。

行徳高校では平成 11 年 4 月より、毎日の観測データを準リアルタイム（1日に1~2回）でweb公開（グラフ利用も自由）するとともに、公開の終わったデータもweb上で参照できるシステムを構築した。毎日およそ300件のアクセスがあるが、データのweb公開に関してのクレームは現在までのところ届いていない。本論では、行徳高校方式の情報公開に関する利用者アンケートを実施した結果やBBS（電子掲示板）の書き込みを通じて、今後のデータ公開のあり方について報告する。

電磁波データ・予知情報の公開に関しての論点には以下のようなことが考えられる。

1. 発信者が電磁波データや予知情報（発生時刻・場所・規模）をどこまで公開するか？
2. 発信者が正確・迅速に情報を伝達するための手段・工夫・注意点は何か？
3. 受信者が情報を使う上での注意点は何か？
4. パニックを引き起こさず、データや警報・予知情報等を有効利用するための方策は何か？